

だいにちさんふくじゅじ  
大日山福寿寺



六地藏



くろがねもち  
銖冬青の大木:数百年前に植えられたもの

所在 鈴鹿市石薬師町 308 番地  
開祖 がにゆうおしょう 願入和尚 寛永 8 年 [1631 年]  
本尊 阿弥陀如来  
宗派 浄土宗  
宗祖 ほうねん 法然 [1133~1212 年]  
住職 わかやましようゆう 若山正雄 (第 26 世) えんじょうじ [遠生寺 四日市市堂ヶ山町] 059-328-1869

このお寺は浄福寺の東方、がにゆうぼう願入坊川の左岸にあり無住である。お寺の南向きの屋根瓦に「みつば あおい三つ葉葵」の御紋が見える。この紋は寛永 11 年 [1634 年]に将軍家光の一行が江戸に帰る途中、御殿山 (石薬師官亭) で昼食に食べた鯖に当たり、突然の腹痛におそ襲われたが、願入和尚のごま護摩焚きにより回復、その功績により春日局から「三つ葉葵」の御紋を授かったと言われている。



お寺の南側を流れる川は和尚さんの名前から願入坊川がにゅうぼうがわと言われるようになった。現在は、我入坊川と称され、ガリンボとも言われている。

現在、遠生寺住職が管理しているのは、明治二年〔1869年〕まで遠生寺の末寺であったことによる。